

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	インクルーシブ教室白ゆり		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年12月1日 ～ 2025年12月31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	グループ活動が主体で、その中で音楽・製作・ルールのある遊び・運動などを通して、社会性やコミュニケーションの力を向上を図っている。	子ども同士のコミュニケーションが上手くいくよう、時には補助したり見守ったりしながら、配慮している。	子どもたちの意見をその場で取り入れるなど、柔軟に活動を行い、子供たちが参加したいと強く思える活動の計画や運営を行う。
2	子ども同士が関われるように、支援者が間に入っている。	時には見守り、時には背中を押したりしながら、子供たち自身が自分からコミュニケーションを取れるよう配慮している。	新しい活動など、子供たちがわくわくするような活動を計画したり、実施の仕方を工夫する。
3	学習もマンツーマンで行うことが出来る。送迎時には、家庭での困りごとや発達についての質問などを受けることもある。	子どもが集中しやすいよう環境設定を行っている。	支援者が実際にモデルを示したり、時には視覚的に数が理解出来るようブロックなどを用いたりして、その子その子に応じた補助を行って学習の支援を行っている。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や兄弟児向けのイベントがない。	開所時間中に行うことが物理的に難しい。	単発であっても、開所日以外で計画できないか検討中である。
2	家族に対する研修などがない。	行政など外部からの研修のお知らせは入り口付近に掲示して情報の周知を図っている。	音楽療法など、すぐに開催が出来そうな内容の研修から企画を検討している。
3	地域との交流の機会が少ない。	特に地域との交流が図れる活動を計画してこなかった。同敷地内の認定こども園とは交流出来ている。	地域の施設などを利用した際には、地域の方々と積極的に交流できるようにしたい。